

CNSニュースレター

～千葉の地から、千葉のチカラ～

2014 秋
vol.5



「おい夏休み！戻ってこーい！！」2014 夏キャンプ・夏の里山里海大冒険キャンプより。

も く じ

□一灯照隅	…2	□ろくすけ日和	…10
□指定管理の現場から	…3	「ろくすけに立派な看板ができました」	
□7～8月の現場レポート	…4	□シニア自然大学	…10
・主催事業		「厚真町グリーンツーリズムとアポイ岳登山」	
・ネットワーク・受託事業		□みんなのおおきな食卓	…11
・指定管理施設の主催事業		□会員校・指定管理施設紹介	…12
□こんなことにチャレンジしています！	…7	□スタッフのつぶやき	…12
□10～1月 CNS ネットワークイベント情報	…8		

一灯照隅

理事長 飯田 洋

千葉自然学校創立十周年を期に、新たなニュースレターとして発刊して一年を迎えましたが、読者の皆さまの声をお聞きしながら更に内容を充実し、手元に届くのを待ちどろしいと思っ
て頂くニュースレターにしたいと考えています。

さて、今回は去る7月初旬に千葉シニア自然大学で実施しました「北海道グリーン・ツーリズム」についてお伝えします。今回の企画は、北海道の道央に位置する厚真（あつま）町を拠点として農業体験と日高山脈の一角にあるアポイ岳登山を組み入れたもので、千葉シニア自然大学と房総を歩こう会から有志47名が参加し、予想を超える一大イベントとなりました。

厚真町との繋がりには、私の近所に住む某大手石油企業のOBで厚真町観光大使の肩書を持つG氏が取り持ってくれました。

千葉シニア自然大学担当のI氏を中心に、ゼロからの綿密な計画づくりのお蔭で、ソーセージ作り、そば打ち、ハスカップ狩りとジャム作

り、農作物の収穫体験、そして811メートルのアポイ岳登山、加えて町の人たちとの交流など雄大な北海道ならではの体験をして来ました。

特に、数百匹のホタルが乱舞するホタル狩りには参加者全員が感動し、宿に戻ってからもしきりその話でもちきりでした。

初めての北海道グリーン・ツーリズムでしたが、お会いした全ての人が親切で「おもてなしの心」に溢れ、また訪れみたいと言う気持ちになりました。

千葉でも観光振興による地域活性にいろいろな取り組みがされていますが、受け入れる側の「心構え」が如何に大切な事か、改めて実感しました。

今回実施した「北海道グリーン・ツーリズム」の今後については、より内容のあるものにするため課題を整理し、継続する方向で検討して行きたいと考えています。



「一灯照隅」この後に「万灯照国」と続きます。これは、1つの灯りは隅しか照らせないが、万の灯りは国全体を照らすことができる。転じて、一人一人が自分の役割を懸命に果たすことが、組織全体にとって最も貴重であるという意味の最澄の言葉です。

指定管理の現場から⑤

千葉自然学校は、現在県内にある3ヶ所の施設を指定管理者として千葉県、南房総市からそれぞれ委託を受け、管理・運営を行っています。このコーナーでは、それぞれの施設での取り組みや想いを皆様にお届けしていきます。

南房総市大房岬少年自然の家 所長 神保清司

大房岬の森では、マテバシイやスダジイ、コナラなどのドングリがたわわに実り、すっかり秋の装いです。

さて今回は、施設管理のお話です。指定管理業務の現場では、建物の設備や備品を点検したり、メンテナンスする業務も多くあります。もちろん「もちはもち屋」で専門性の高い内容の業務は、業者さんにお任せするのですが、出来ることは、自分たちで行っています。

特に独立自営型の施設運営をしている大房岬少年自然の家では、予算も限られているので、ドアアームを取り付けたり、簡単な雨漏りを直したり、空調設備のクリーニングなどは自分たちで行います。リヤカー修理やカマドの補修などの大工仕事もまた然りです。

自然体験活動の指導だけでなく、工具の使い方を覚えることや設備の構造を覚えることも指導者としての幅を広げることに繋がります。



～体育館の電灯交換も～

千葉県立君津亀山少年自然の家 所長 庄司達哉

「なんでも作ってみよう」

先日、ある学校の稲刈り体験に同行させていただきました。鎌で稲を刈って、稲を束ね、干す作業(はさがけ)を体験しました。学校の子どもと一緒に稲を刈っているときに、一人の子がぼそっと「なんで干すんだろう？」と呟いていました。「このまま食べられると思ったの？」と聞くと、うなずいていました。この体験をやってよかったと心から思った瞬間でした。



日本人の主食の「米」。この子は実体験を通して、自分達の食べているものがどうやって出来ているのかを学んだのだと思います。

ほとんどの人は身の回りにあるものが、どうやって作られているのか分からないまま生活をしています。だからこそ、今の世の中は自然と人の結びつきが希薄になっているのではないのでしょうか。

体験を通してこれらを伝えていくことも、青少年教育施設の重要な役割だと思います。と言っても、私も自分の食べているもの・自分の着る服など…、どこでどうやって作っているか分からないものだらけです。まずは私自身が「なんでも作ってみよう！」と思っています。

千葉県立大房岬自然公園 公園長 畑野佳昭

この夏はアナグマとの知恵比べでした。アナグマは森林などに生息する夜行性の生きもので、大房岬の斜面に巣穴を掘って生活しています。大房岬は木々に囲まれているので良いすみかなのでしょう。以前はタヌキをよく見たそうですが、数年前にタヌキが皮膚病にやられて見かけなくなり、この数年でアナグマ目撃例が増えてきました。

食性は雑食。ミミズや昆虫、爬虫類や果実、キノコなどいろいろ食べるようですが、最近はキャンプ場の食べ物を狙う例が増えてきています。対策として有刺鉄線を張ったり、利用者の皆様にもゴミ処理や食べ物の始末などの情報提供を行っています。

アナグマも棲む自然豊かな公園といえば聞こえもいいのですが、被害は頭の痛いところです。

しかし、本来は生き物のすみかであった自然に我々人間が間借りして自然を楽しんでいる立場なので、共存できるようなやり方を模索しながら維持管理に努めたいと思います。



⑦⑧月の現場レポート

《主催事業》

週末・子ども

海へ漕ぎだせ！ イカダキャンプ

～夏の遊びは、イカダキャンプからはじめよう～

7/5(土)～6(日) 小学1～6年生

1泊2日テント泊 多田良北浜海岸キャンプ場(南房総市富浦町)

◆イカダ作り準備(ロープワークを覚えよう)/イカダ作り①/焚き火タイム/イカダ作り②/とことんイカダ遊び!



竹を組んで、ひもでしっかりと結び、イカダの出来上がり！完成目指して、ロープワークを必死に覚える姿が印象的でした。

今回は、海岸のキャンプ場が活動場所。浜辺で夕日を見たり、夜は焚き火で過ごしたり、夜明けとともに早起きをして身体にも良い刺激だったことでしょう。

もちろん、イカダというシンプルな遊びで、心も大満足の2日間となりました。

大人(シニア)

ビスターリ(房総を歩こう県外編) はじめての夏富士・宝永山

7/19(土)日帰り 山梨県 富士山周辺

宝永4年(1707年)に爆発した跡は、宝永火口と呼ばれ、富士の圧倒的なスケールを体感できるコース歩き

「ビスターリ」とは、ネパール語で「ゆっくり」という意味です。



五合目到着時は、富士山山頂も覗まれ最高のお天気になりました。残念ながら宝永山登頂は悪天が予想され回避となりましたが、回避後の森のルートは、しっかりと静かな森歩きが出来ました。

2014夏キャンプ・子ども

海チル・川チルアドベンチャー

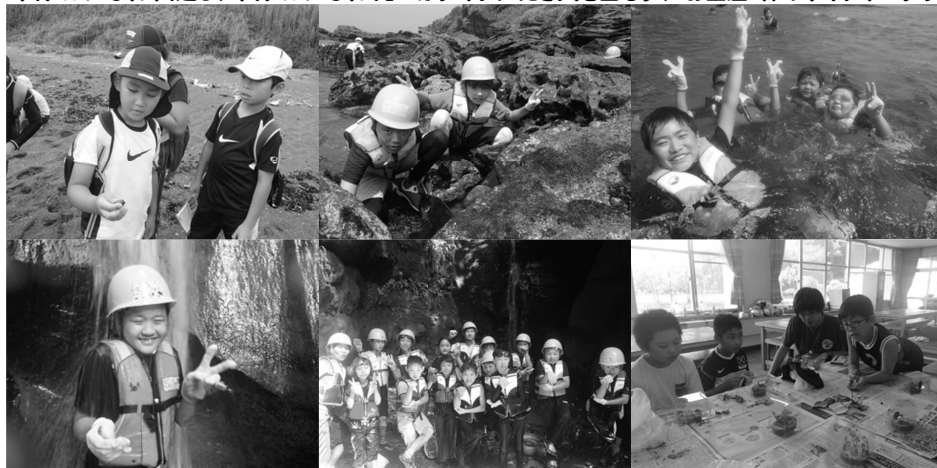
～千葉の海と川を遊びつくす、3泊4日の大冒険キャンプに出発だ！～

7/24(木)～27(日) 小学1～6年生

3泊4日 施設泊 南房総市大房岬少年自然の家 千葉県立君津亀山少年自然の家 旧環南小学校(富津市)

◆岬の森を突き進め!海の生き物スライドショー/磯の秘境探検/ウミホタルの観察

川チルになれ!川遊び/川チルになれ!滝つぼダイブ/たき火を囲もう!/お土産 森のネイチャークラフト



前半は、大房岬にて海のプログラムを実施。足場をひとつひとつ確認しながら、穴場の磯場へ向かうのはまさに大冒険でした。後半は、旧環南小学校の側の川にて、川遊び。夏前の豪雨で流れ込んだ土砂で川底が浅くなり、ダイブとまではいきませんでしたが、生き物探しや川の流れを体感したりと様々なスタイルで楽しみました。その後、君津亀山へ移動し、ネイチャークラフト。千葉のフィールドを存分に冒険した4日間となりました。

2014夏キャンプ・子ども

原始人キャンプ



～寝る場所確保、食材採り、火起こし＆調理にチャレンジするサバイバルキャンプ！～

7/29(火)～31(木) 小学1～6年生

2泊3日 テント泊 月出野外活動センター(市原市)

◆原始の村づくり/とことん火起こしクッキング/川遊び/食材ゲット(自分たちで食べ物を採ろう)/原始村の片付け/全体遊

開村式での話。「この火を絶やさずに3日間過ごそう！」
ご飯作り、夜の焚き火、時には暖をとるための火。全て、原始の火から。この火の存在が子どもたちの仲間意識をぐっと高めてくれました。

また期間中は、山菜を採っててんぷらにしたり、川遊びを楽しんだり、昼食には流しそうめんと野外でのびのび過ごすことができました。もっとサバイバルな体験がしたい！との声もあり、キャンプ好きになってくれたようです。



2014夏キャンプ・子ども

昆虫ゲットキャンプ



～きみかめの森でとことん昆虫探し！～

①8/6(水)～7(木)②8/11(月)～12(火) 小学1～6年生・年中～年長

1泊2日 施設泊 千葉県立君津亀山少年自然の家

◆虫捕り/トラップづくり/夜の昆虫観察/朝の昆虫観察/オリジナル図鑑作り

もっと昆虫のことを知ってほしい、自分自身で昆虫の「すごい！」を発見してほしい。そんな想いで企画した昆虫キャンプ。君津亀山をベースに、草むらの昆虫、森の中に住む昆虫、そして宿泊ならではの夜の虫捕りも実施しました。ライトトラップは、見事捕まえることができるか？ワクワクドキドキ感。虫捕りだけでなく、本物をよ～く観察して昆虫図鑑作りにも挑戦。体験(本物)から多くのことを学んだキャンプとなりました。



2014夏キャンプ・子ども

夏の里山・里海大冒険キャンプ



～築180年の茅葺き古民家をベースに、南房総の里山・里海に飛び出そう！～

8/18(月)～21(木) 小学1～6年生 3泊4日 古民家「ろくすけ(屋号)」泊

◆田舎散策、虫捕り、とことん海遊び、海で釣った魚をさばいてみよう、チャレンジ登山、星空観察、焚き火、古民家生活

古民家をベースに過ごしたキャンプとなりました。虫捕りでは、虹色の「タマムシ」に大興奮したり、海では、体を浮かせて波に身を任せてゆらゆらと満喫。釣りは、大漁とはいきませんでしたが最後まで夢中になって取り組んでいました。3日目最後の夕食は、班でメニュー(食材)を考えてクッキングに挑戦してみました。

ひとつひとつのんびりと、里山里海をどっぷりと楽しむことができました。



《ネットワーク・受託事業》



受託事業

まきば保育園「サマーキャンプ」

7月中旬、南房総にある古民家ろくすけに20人の子どもたちがやってきました。埼玉にある「まきば保育園（社会福祉法人若草会）」のサマーキャンプです。ご縁があり、昨年度から年長さんの子どもたちがろくすけの里山で過ごす2泊3日を千葉自然学校がお手伝いしています。

山あり海ありの南房総で、海で遊び、長い竹でつついて夏みかんをとり、昆虫トラップをしかけ、ツリーデッキにのぼり、丸太の手作りシーソーで遊び…子どもたちは豊かな感性で元気いっぱい過ごしていききました。

遊びの天才の子どもたちにとって、ろくすけのような場所で過ごした3日間は夢のような時間だったのではないかと思います。そして、子どもたちの活気によって、ろくすけもまた元気になったように感じました。

子どもたちと地域・自然をつなぐ活動。この古民家ろくすけで深め、広げていくことができればと強く感じました。
(文：佐藤玲子／かつを)



ネットワーク（南房総体験ネットワーク協議会としての取り組み）

教育旅行受入

館山市、鴨川市、南房総市、鋸南町では「南房総体験活動ネットワーク協議会」（以下、協議会）を設立し、南房総エリアにおける子ども農山漁村交流をはじめとする体験観光（教育旅行）の受け入れを行っております。これは体験事業者、NPO等団体及び行政等が協働して、南房総の多様な魅力を子どもたちに伝えようという取り組みです。平成25年度は約100校の小中学校、高等学校の体験を受け入れました。

特にここ数年は「千葉市農山村留学の誘致」として、自然の家と民宿の相互泊をする千葉市内の小中学校が増えております。普段はなかなか体験できない里海や里山での体験は、訪れる子どもたちにとって一生の思い出になっています。今後も子どもたちの笑顔のために団体と地域の方を繋ぐ役割を果たしつつ、より良い体験が提供するため、地域の人材発掘やプログラム開発に取り組んでいきたいと思っています。
(文：齋藤みゆき／みら)



受託事業（平群ツーリズム協議会としての取り組み）

築180年、南房総市平久里下の古民家「ろくすけ」が眠りから覚めて、都市と農村の交流拠点として活動を始めました。

古民家「ろくすけ」との付き合いは平成16年、職員の宿舎及び子どもたちの体験の場として家主若林昭典さんと契約を結び始めました。

その後、農林水産省「農村景観・自然環境保全再生パイロット事業」、「広域連携共生・対流等対策交付金事業」、千葉県「連携協働による地域課題解決モデル事業」や南房総市「地域力を育むモデル事業」でかやぶき屋根の補修、浴室・トイレの改修と合併浄化槽の設置、母屋の床下・長屋門の修理を行い、平成25年1月に家主さんとの契約を30年間としました。25年度に厨房・加工室の修理を行い、平成26年6月飲食店営業の許可を取りました。

この間、「ろくすけ」に居住した職員の努力やヤックス自然学校が実施した週末ホームステイ等のキャンプ、職員や千葉シニア自然大学OBによる屋根や周辺整備作業により平久里下地区の住民の皆さんとの交流も深まりました。

そして、平成25・26年度には千葉県「地域コミュニティ活性化支援事業」を受託して平群3地区（平久里下・平久里中地区、山田地区）の区長、住民、団体の皆さん、南房総市、それに千葉シニア自然大学OBによる「ろくすけ応援隊」と千葉工業大学鎌田研究室という構成で平群ツーリズム協議会を結成し、「ろくすけ」を都市農村交流拠点としてツーリズムによる地域活性化「子どもの声が響く地域」を目指し活動を始めました。

過疎・高齢は平群地区のみの課題ではありません。都市部にとっても直面する課題です。この平群での取り組みが一つのモデルになるように、「ろくすけ」を活用して活動経費を得ながら都市部シニアや地域と連携して地域活性化の活動を続けてゆきたいと考えています。
(文：遠藤陽子／サニー)



《指定管理施設の主催事業》

千葉県立君津亀山少年自然の家

「きみかめ七夕まつり」

夏の一大イベント「きみかめ七夕まつり」を紹介します。

毎年7月に、地域交流やきみかめの活動内容の宣伝、親子で楽しめる場を提供する目的で七夕まつりを行っております。近隣の体験活動を行っている団体にも参加して頂き、570名ほどの方が来所しました。七夕にちなんで、竹遊びと竹クラフトを中心に無料遊びのブースや飲食のブースを展開しました。友達やご家族で一日中おまつりを満喫していただくことができました。少年自然の家のスタッフが出店した竹クラフトブースとたき火カフェも大盛況でした。子ども達はダックコールの音を友達同士で鳴らし合い、たき火でちいさいピザやマッシュマロを焼きながら目を輝かせていました。

9月23日には秋のお祭りである「きみかめ山のフェスティバル」がひかえています。テーマはアート&てづくり！趣向をこらした体験ブースをご用意して皆様のお越しを心よりお待ちしております。(文：飯塚伊代/まりも)

南房総市大房岬少年自然の家

「星空ナイトシアター」

毎年恒例となっている「星空ナイトシアター」を8月16日に実施しました。当日は、約100名の方にご参加いただき、親子やご夫婦、仲間、またお盆で帰省中の為3世代でお越しいただいた方もいらっしゃいました。

芝生の上に大きなスクリーンを設置し、自然の家のスタッフ、近隣学校の小学生とその保護者の方々が協



力して、宮沢賢治の名作「銀河鉄道の夜」を朗読しました。物語の世界感を味わうことで、幻想的な時間を過ごすことができたと思います。また、ECOM 竹燈協力のもと、園路を竹燈籠でライトアップすることで、より幻想的で雰囲気のある場所となりました。野外シアターでは、風でスクリーンがゆらめき、まるで絵が動いているように見えます。他にも、徐々に暗くなってくことで目が慣れてきて、実際に物語の中に出てきた星座たちが夜空に見え、星たちの輝きを満喫することができました。夏休みに、自然の中でゆっくりと過ごすことで、自然の心地良さを感じてもらえる素敵な夜になったのではないのでしょうか。

(文：臼井和樹/あつし)

「岬のナイトツアー」 千葉県立大房岬自然公園



夏休みの期間、公園が運営しているキャンプ場は各地から訪れる家族連れのお客様で賑わいます。磯遊びの他にも、生き物の動く夜の森をぜひ知ってもらいたいということで、この夏は夜のイベントの一つとして計9本のナイトツアーを実施しました。

「コウモリ編」では、キクガシラコウモリの住むヒミツの場所へご案内しました。じめっとした洞窟内でバットディテクター(超音波探知器)を使ってみると、コウモリが発する超音波や虫を取る時の「ガツッ」という音まで聞くことができます。

「アカテガニ編」では森と海がある環境だから住めるアカテガニの楽園へご案内。その数に子どもも大人も驚き&大興奮でした。参加した方からは「普段こんな暗い森を家族だけで歩くんてできないことが、とても楽しかつ

と口々に感想をいただきましたが、生き物の面白さだけでなく、夜の本当の暗さを体で感じてもらえることも魅力。だんだんと闇に慣れていった先にお目当ての生き物と出会えると、より親密に生き物を感じられる気がします。街暮らしではなかなか体験できない感動的な自然との出会いを公園として今後も様々な形で提供できたらと思っています。(分：白井美季子/ふっきー)

こんなことにチャレンジしています！

千葉県立中央博物館の「ミュージアムショップ」運営。

千葉駅の南東ほんの数km先にある青葉の森公園の敷地内に千葉県立中央博物館があります。その中にあるミュージアムショップは、平成元年のオープン以来25年余にわたり中央博物館友の会により運営されて来ましたが、今春の友の会解散に伴い、千葉自然学校がその運営を博物館より委託されています。

博物館では毎年、小・中学生の夏休みのスタートに合わせて大きな企画展を開催しています。今年の企画展は「図鑑大好き！」(開期 7/19~10/13)。開催期間中に来館者が大幅に増加することを予想し、約2ヶ月先行して図鑑展の中で触れられる予定の図鑑から90種類近い図鑑類を準備し、お客様からも好評を頂いています。

他方、博物館ミュージアムショップの運営は、丸一年間を通じた息の長い仕事です。来館者ひいては来店者数の増をどのように図っていくかは博物館・ミュージアムショップ共通の課題です。去る8月7日には、博物館のコラボレーション(協働)行事の初の形態として、中央博物館自然誌・歴史研究部の全面的な協力の下『木の葉化石発掘親子講座』を、また8月14日には“ミュージアムショップ改善プロジェクトチーム”を発足し、博物館との第1回合同ミーティングを開催しました。

因みに来年度の企画展タイトルは「物の怪(もののけ)来るぞ!」、再来年度は「深海生物(仮称)」とのことです。皆さんの柔軟な頭脳で案出した“グーなアイデア”があれば、連絡をお待ちしています!!

(文：関谷 徳一/せえさん)





10月のイベント

簡単！燐製作体験	主催：館山野鳥の森
段ボール箱や針金ハンガーを使って、簡単な燐製作りに挑戦しよう。 開催日：10月18日(土)10:00～12:00 料金：1,600円／定員：30名 *3年生以下のお子様は保護者同伴 ◆問合せ・申込み：0470-28-0166	
鴨川の石造物百選をめぐる②	主催：内浦山県民の森
鴨川の石造物百選をめぐるシリーズの第2回目。大山地区を歩きます。 (約10km、団体歩行) 開催日：10月18日(土)9:30～15:30 料金：1,200円／定員：25名 *中学生以下は保護者または引率者同伴 ◆問合せ・申込み：04-7095-3185	
オータムマルシェ	主催：CNS 北総エリア事業部会
旬の食材や加工品、千葉県産の郷土料理、自然素材を使ったクラフトなど秋の魅力が盛りだくさんのオータムマルシェを開催します！ 開催日：10月19日(日)9:00～16:00 ※少雨決行 会場：国民宿舎サンライズ九十九里（千葉駅からバスが出ています） ◆問合せ・申込み：043-227-7103、info@chiba-ns.net	
農のある暮らし講演会「野菜のちから、農のちから」	主催：千葉自然学校（体験農園 in 岩名）
1996年、全国に先駆けて開設した都市型農園「緑と農の体験塾」が開園しました。都市農業の先進事例として注目され、体験農園は今、全国に広がっています。農業者と消費者の顔の見える身近な関係を作り、消費者の食と農をつなげ、人をつなげ、都市の農地を保全し、緑と防災拠点を生み出す体験農園について語ります。〈農林水産省「農」のある暮らしづくり交付金〉 【講師・加藤義松氏（緑と農の体験塾 農園主）】 開催日：10月21日(火)13:30～15:30 会場：塚本大千葉ビル 8階会議室（千葉駅東口から徒歩5分、ヨドバシカメラ上） 対象：どなたでも / 定員：50名 ◆問合せ・申込み：043-227-7103、info@chiba-ns.net	
古民家「ろくすけ」で郷土料理をつくる・味わう②	主催：平群ツーリズム協議会
嶺岡は、日本の酪農発祥の地。この地に伝わる初乳を使った嶺岡豆腐と行事には欠かせないからなますを和田町「くすの木」の厨房責任者・黒川氏に教わります。〈千葉県地域コミュニティ活性化支援事業〉 開催日：10月24日(金)8:30～16:30／料金：3,000円 会場：古民家ろくすけ（南房総市平久里下）／集合解散：千葉駅NTT前 ◆問合せ・申込み：事務局 千葉自然学校 [貸切バス] TEL043-227-7103／FAX043-202-7173／ info@chiba-ns.net	
サツマイモ掘り	主催：上総自然学校
サツマイモを掘って焼き芋を食べます。 開催日：10月25日(土)13:30～16:00／申込み切：10月20日(月) 対象：小学生以上 *小学生は親同伴必須 定員：20名（先着順）／料金：800円 ◆問合せ・申込み：0438-75-7414、itoda@shinko-jij.jp	
里海ないちゃーず「秋の釣り体験」	主催：ELFIN 体験共育くらぶ
秋の里海で釣り三昧。前夜移動・前泊で早朝からたっぷり釣りを楽しみます。堤防、小磯でその時期に釣れている魚を狙います。午前中に釣った魚は、お昼のおかずの一品に加えます。*25日に集合・移動となります。 開催日：10月26日(日)／対象：小学4年生～中学生 料金：13,000円／定員：6名（最小催行3名） 会場：千葉県銚子町周辺／集合解散：千葉駅、東京駅を予定 ◆問合せ・申込み：0470-55-8322、toi-awase@elfin-ee.com	
森のハロウィンキャンプ	主催：千葉自然学校
きみかめの森でレッツハロウィン！自然の材料を使ったらどんな仮装ができるかな。ランタンはかぼちゃから作ろう。夜はハロウィンパーティー☆ 開催日：10月25日(土)～26日(日)／対象：年中～年長、小学生 参加費：16,000円（一般）、13,000円（CNSクラブ会員） 会場：君津亀山少年自然の家（君津市）／集合解散：千葉駅、君津駅、現地 ◆お申込・問合せ：043-227-7103、camp@chiba-ns.net	
ピッツアを焼こう！食べよう！	主催：内浦山県民の森
レンガの窯で焼くピッツア。生地作りからトッピング、焼きまでを体験します。地元の新鮮野菜を使った焼きたてのピッツアでランチタイム。 開催日：10月26日(日)9:30～12:00 料金：1,700円／定員：20名 *中学生以下は保護者または引率者同伴 ◆問合せ・申込み：04-7095-3185	
秋の草木染め「藍染め」	主催：内浦山県民の森
古くから愛されてきた藍を使って、小風呂敷を染めます。好きな絞りで模様を入れて、自分だけの作品作りを楽しみましょう。 開催日：10月26日(日)13:00～15:00 料金：1,600円／定員：20名 *中学生以下は保護者または引率者同伴 ◆問合せ・申込み：04-7095-3185	



11月のイベント

ピザ焼き体験	主催：館山野鳥の森
レンガ作りのピザ窯で、手作りピザ作りに挑戦しよう。 開催日：11月8日(土)10:00～14:00 料金：1,600円／定員：30名 *3年生以下のお子様は保護者同伴 ◆問合せ・申込み：0470-28-0166	
秋の海釣り体験@南房総	主催：ELFIN 体験共育くらぶ
秋の里海で海釣り体験。その時期の釣況や天候に合わせ、小磯や堤防でノベ竿ウキ釣り、扱いやすい短いリール竿を使ったちょい投げ釣りなど、初めて釣りをする方や気軽に釣りを楽しみたい方向けの海釣り体験です。 開催日：11月8日(土)／対象：小学生～大人／定員：15名（最小催行4名） 会場：南房総市／料金：会員5,500円、ビジター6,300円（お弁当付き） 集合解散：JR 岩井駅、高速バス「ハイウェイオアシス富里」 ◆問合せ・申込み：0470-55-8322、toi-awase@elfin-ee.com	
秋の里海体験 地引網&BBQ	主催：ELFIN 体験共育くらぶ
秋の里海でさわやかな風を感じながら参加したみんなで協力して地引網体験。獲れた魚は自分の手で捌き、焚き火を起こしてアウトドア料理、そしてバーベキューを楽しみます。子どもから大人まで賑やかに楽しむ1日です。 開催日：11月9日(日)10:00～15:00 対象：どなたでも／定員：40名（最小催行25名） 料金：中学生以上6,500円、小学生5,800円、4歳以上4,000円 会場：岩井海岸（南房総市） 集合解散：JR 岩井駅、高速バス「ハイウェイオアシス富里」、現地 ◆問合せ・申込み：0470-55-8322、toi-awase@elfin-ee.com	
紫米粥刈りとヨガ	主催：上総自然学校
古代米の稲刈りをしてから、のんびりヨガをします。 開催日：11月9日(日)13:00～17:00／申込み切：11月3日(月) 対象：小学生以上 *小学生は親同伴必須 定員：20人／料金：大人3,500円、小学生2,000円 ◆問合せ・申込み：0438-75-7414、itoda@shinko-jij.jp	
クラフトテープを使ったカゴ作り(初級編)	主催：館山野鳥の森
クラフトテープを使って、カゴを作ります。（プチトートバック） 開催日：11月15日(土)10:00～15:00 料金：900円／定員：20名 *3年生以下のお子様は保護者同伴 ◆問合せ・申込み：0470-28-0166	
干し柿づくり	主催：上総自然学校
渋柿を収穫して、干し柿を作ります。 開催日：11月15日(土)13:00～16:00／申込み切：11月11日(月) 対象：どなたでも *小学生以下は親同伴必須／定員：20人（先着順） 料金：800円 *乳幼児無料 ◆問合せ・申込み：0438-75-7414、itoda@shinko-jij.jp	
オトナのゆるキャン 焚火とパンとハンモック	主催：ELFIN 体験共育くらぶ
ロープ一本で簡単にでき、ほどけるハンモックを作ります。ハンモックにゆられて過ごす時間。ダッチオーブンで焼く手作りパンの香り。秋の夜長を楽しむ焚火。ゆったりとした時間を楽しむプログラムです。 開催日：11月15日(土)～16日(日)／対象：20歳以上／定員：10名 料金：会員15,000円、ビジター16,500円／会場：大房岬自然公園 集合・解散：JR 富浦駅もしくは、高速バス「富浦枇杷倶楽部」、現地 ◆問合せ・申込み：0470-55-8322、toi-awase@elfin-ee.com	
～紅葉の猪ノ川渓谷～ロングハイキング	主催：内浦山県民の森
上総亀山駅→東大演習林（猪ノ川林道→郷林道→清澄寺→一杯水道）→県民の森まで、赤や黄色に色づいた森のハイキング。（約25km、健脚向き） 開催日：11月19日(水)8:00～15:30 定員：25名／料金：宿泊7,500円、日帰り1,500円 *中学生以下は保護者または引率者同伴 ◆問合せ・申込み：04-7095-3185	
房総を歩こう番外編～初冬の御坂山塊・高川山～	主催：千葉自然学校
（登山コース…標高差300m以上、歩行4時間以上） 開催日：11月22日(土) *悪天候延期日：翌日 参加費：6,500円／会場：山梨県都留市／集合解散：JR初狩駅（予定） ◆お申込・問合せ：043-227-7103、camp@chiba-ns.net	
秋の新そばとハイキング	主催：内浦山県民の森
県民の森→大多喜町会所→県民の森ハイキング。会所の隠れた蕎麦屋『もみの木庵』に立ち寄り、新そばで食卓を。（団体歩行、11km） 開催日：11月24日(月)9:30～14:30／定員：30名／料金：1,600円 *中学生以下は保護者または引率者同伴 ◆問合せ・申込み：04-7095-3185	
①クリスマスリース作り、②クリスマスオーナメント作り	主催：内浦山県民の森
①アケビのツルでリースを作り、いろいろな木の実とリボンでワイルド＆自分好みのクリスマスリースを作ります。②ツリやヒヤラギ、サンタなど型抜いて、楽しいクリスマスツッキーを石窯で焼きます。 開催日：11月29日(土) ①9:30～12:30、②13:00～15:00 料金：①1,300円、②700円 定員：①②各20名 *中学生以下は保護者または引率者同伴 ◆問合せ・申込み：04-7095-3185	

古民家「ろくすけ」で郷土料理をつくる・味わう③	
主催：平群ツーリズム協議会	
大原幽学が香取の農民に伝えたという、うるち米を使ったのだ越しの良い性もちを作ります。あん餅なのになぜか南房総では「あんびんもち」と呼ばれています。どこから伝わったのか…想像力を膨らませながら、郷土料理の魅力を探ります。〈千葉県地域コミュニティ活性化支援事業〉	
開催日：11月30日(日) 8:30～16:30/料金：3,000円	
会場：古民家ろくすけ(南房総市平久里下) / 集合解散：千葉駅NTT 前	
◆問合せ・申込み：事務局 千葉自然学校 TEL043-227-7103/FAX043-202-7173/ info@chiba-ns.net	
平群を歩く②	
主催：平群ツーリズム協議会	
「平群囃子・平群和紙の歴史とミカン狩り」富楽里→平群囃子・平群和紙→吉沢ミカン狩り→古民家ろくすけ→富楽里(初級編、3時間程度)	
開催日：11月30日(日) 8:30～16:30/料金：2,000円(弁当付き)	
◆問合せ・申込み：事務局 千葉自然学校 / 集合解散：千葉駅NTT 前 TEL043-227-7103/FAX043-202-7173/ info@chiba-ns.net	



12月のイベント

神寺のゴマ豆腐作り	
主催：上総自然学校	
永平寺で修行してきたお坊さんにゴマ豆腐作りを教えて頂きます。	
開催日：12月2日(木) 13:00～16:00/申込み切：11月27日(土)	
対象：小学生以上 *小学生は親同伴必須/定員：15人(先着順)	
料金：1,200円/◆問合せ・申込み：0438-75-7414, itoda@shinko-jii.jp	
房総を歩こう～紅葉の梅ヶ瀬・大福山～	
主催：千葉自然学校	
旬の素材を使った弁当付(登山コース…標高差300m以上、歩行4時間以上)	
開催日：12月6日(土) *悪天候延期日：翌日	
参加費：5,900円/会場：市原養老溪谷/集合解散：JR君津駅	
◆お申込・問合せ：043-227-7103, camp@chiba-ns.net	
高尾山ハイキングとムササビウォッチング	
主催：ELFIN 体験共育くらぶ	
週末の午後から歩き始めるハイキングプログラム。前半はハイキングの定番高尾山を登ります。山頂では夕焼け、富士、そしてディナータイム。後半は薬王院から1号路を下りながら高尾山に棲む野生動物ムササビをナイトウォッチング。夜の森のショートハイクも予定しています。	
開催日：12月6日(土) 12:30～20:00/対象：20歳以上	
料金：会員5,500円、ピシター6,300円/定員：10名(最小催行4名)	
会場：東京都高尾山/集合・解散：高尾山駅	
◆問合せ・申込み：0470-55-8322, toi-awase@elfin-ee.com	
手作りの鉢作りとガーデニング教室	
主催：館山野鳥の森	
冬の草花の寄植体験と、寄植用の鉢を作ります。	
開催日：12月6日(土) 10:00～15:00/料金：1,600円/定員：20名	
*3年生以下のお子様は保護者同伴/◆問合せ・申込み：0470-28-0166	
紅葉ハイキング①②	
主催：内浦山県民の森	
①君津市折木沢→東京大学千葉演習林猪ノ川林道→郷台林道→清澄寺まで。秋の自然を満喫しましょう。(団体歩行、約11km)	
②三石観音→三石歩道→郷台作業所→三十三曲→小仁田歩道→亀山神社。(約11km、健脚向き)	
開催日：①12月8日(月)、②12月9日(火) いずれも9:00～16:00	
定員：①②各30名/参加費：①②各宿泊8,000円、日帰り1,300円	
*中学生以下は保護者または引率者同伴/◆問合せ・申込み：04-7095-3185	
～冬の星空観察会～スターキャンプ鴨川	
主催：内浦山県民の森	
冬の星々を観望します。子ども対象に望遠鏡操作体験会の実施。My 望遠鏡持参可。君津天文同好会との共催イベント。	
開催日：12月13日(日) 16:00～20:30/定員：20名/参加費：100円	
*中学生以下は保護者または引率者同伴/◆問合せ・申込み：04-7095-3185	
しめ縄とお飾り作り	
主催：上総自然学校	
わらを煮てお正月のお飾りを作ります。	
開催日：12月13日(土) 13:00～15:00/申込み切：12月8日(月)	
対象：小学生以上 *小学生は親同伴必須/定員：20人(先着順)	
料金：500円/◆問合せ・申込み：0438-75-7414, itoda@shinko-jii.jp	
正月飾り作り	
主催：館山野鳥の森	
地元の正月飾り(注連縄)とミニ門松を作ります。	
開催日：12月20日(土) 10:00～15:00/料金：1,600円/定員：20名	
*3年生以下のお子様は保護者同伴/◆問合せ・申込み：0470-28-0166	
夜の森へ…ムササビに会いに行こう！	
主催：ELFIN 体験共育くらぶ	
身近な森に棲む野生動物ムササビ観察会です。ムササビ観察を通じて夜の森や自然を感じます。ムササビの他にも夜に行動する野生動物に会えるかも？！小学生は保護者の方をご参加ください。幼児の参加はご相談ください。*参加費：ガイド費用含む。() 内は小・中学生の参加費です。	
開催日：12月20日(土) 14:30～20:00	
参加費：会員4,000円(3,000円)、ピシター4,800円(3,800円)	
会場：東京都高尾山/対象：どなたでも/定員：15名(最小催行5名)	
◆問合せ・申込み：0470-55-8322, toi-awase@elfin-ee.com	
パンのリースを焼こう！	
主催：ELFIN 体験共育くらぶ	
パンを生地からこね、ダッチオーブンで焼いてクリスマスリースを作り(焼き)ます。作ったパンリースはラッピングしてお土産に。お風呂はあたたい具だくさんスープを作ります。火を囲んでアウトドアクッキングを楽しむ親子プログラムです。(会場は10月下旬に決まります)	
開催日：12月21日(日)/対象：4歳～小学生の親子	
参加費：会員13,000円、ピシター14,500円	
*親子2名1組、3人目からの追加参加費：3,000円	
定員：6組(最小催行4組)/会場：都内テイクアウト場	
◆問合せ・申込み：0470-55-8322, toi-awase@elfin-ee.com	

森のクリスマスキャンプ①②	
主催：千葉自然学校	
毎年大人気！子どもが大好きなイベントキャンプです。君亀の森に雪は降るかな。一足早くサンタさんは現れるかな？(施設泊)	
開催日：①12月20日(土)～21日(日)、②12月25日(木)～26日(金) 1泊2日	
参加費：各日程 CNSクラブ会員21,000円、一般24,000円	
対象：幼児、小1～6年生/会場：県立君津亀山少年自然の家	
◆お申込・問合せ：043-227-7103, camp@chiba-ns.net	
新企画★スノーあそびベンチャー	
主催：千葉自然学校	
スキーだけが雪遊びじゃない！巨大そりコースを作って遊ぼう！レッツスノーあそびベンチャー！(施設泊)	
開催日：12月25日(木)～28日(日) 3泊4日	
参加費：CNSクラブ会員38,000円、一般41,000円	
対象：幼児、小1～6年生/会場：国立妙高青少年自然の家(新潟県妙高市)	
◆お申込・問合せ：043-227-7103, camp@chiba-ns.net	
里やまうみ自然体験Ⅰ	
主催：ELFIN 体験共育くらぶ	
冬休み、田舎の民家で過ごす体験プログラムです。1日目は切り出した竹を使ってバームクーヘンを焚火で焼きます。2日目は子どもたちでやりたいことを相談して決めるフリープログラム。3日目はお正月に向けてミニ門松を作り、おみやげに。25-26日の1泊2日でも参加可能。	
開催日：12月25日(木)～27日(土)/会場：千葉県鋸南町	
集合解散：東京駅・千葉駅(予定)	
対象：小学生/定員：8名(最小催行4名)/参加費：20,000円	
◆問合せ・申込み：0470-55-8322, toi-awase@elfin-ee.com	
里やまうみ自然体験Ⅱ	
主催：ELFIN 体験共育くらぶ	
冬休み、田舎の民家で過ごす体験プログラムです。1日目は寒さに負けず釣りに出かけます。2日目は子どもたちでやりたいことを相談して決めるフリープログラム。3日目は連凧を作り、海岸で凧上げ。29-30日の1泊でも参加可能。	
開催日：12月29日(月)～31日(水)/会場：千葉県鋸南町	
集合解散：東京駅・千葉駅(予定)	
対象：小学生/定員：8名(最小催行4名)/参加費：20,000円	
◆問合せ・申込み：0470-55-8322, toi-awase@elfin-ee.com	



1月のイベント

2015 初日の出と初詣	
主催：内浦山県民の森	
＜森の宿「せせらぎ」宿泊者対象＞	
妙法生寺への初参りと初日の出へご案内します。	
開催日：1月1日(木) 6:00～8:30	
定員：25名/参加費：300円*中学生以下は保護者または引率者同伴	
◆問合せ・申込み：04-7095-3185	
房総を歩こう～房総ロングトレイルハイク～	
主催：千葉自然学校	
旬の素材を使った弁当付(登山コース…標高差300m以上、歩行4時間以上)	
開催日：1月10日(土) *悪天候延期日：翌日	
参加費：5,900円/会場・集合解散：調整中	
◆お申込・問合せ：043-227-7103, camp@chiba-ns.net	
野鳥観察会	
主催：館山野鳥の森	
日本野鳥の会会員を講師に招き、野鳥の森園内や周辺の野鳥観察を行います。	
開催日：1月10日(土) 10:00～15:00/料金：600円/定員：20名	
*3年生以下のお子様は保護者同伴/◆問合せ・申込み：0470-28-0166	
ピザ焼き体験	
主催：館山野鳥の森	
レンガ作りのピザ窯で、手作りピザ作りに挑戦しよう。	
開催日：1月1日(土) 10:00～14:00/料金：1,600円/定員：30名	
*3年生以下のお子様は保護者同伴/◆問合せ・申込み：0470-28-0166	

スペシャル宿泊プラン

秋グルメプラン	
国民宿舎 サンライズ九十九里	
ご宿泊人数日本一記念謝恩価格！！	
＜期間：8月25日～11月30日＞	
今回の秋グルメの夕食は、食欲の秋を満喫する豪華な内容で、メインは千葉県が有数の水揚げを誇る伊勢海老の姿造りと金目鯛のしゃぶしゃぶです。また、この時期ならではの風味豊かな松茸の土瓶蒸しも絶品です。	
【プラン特典】正午までのゆったりチェックアウト。温水プール 2時間無料券、彩り浴衣無料貸し出し(女性限定、1日先着20名様)その他盛り沢山！	
料金：1泊2食 10,800円(税込)	
*大人2名以上でお申し込みください。1日限定30名様となります。	
その他詳細はサンライズ九十九里HP等でご確認ください。	

ボランティア募集

自然保護ボランティア募集	
主催：大房岬自然公園	
◆ピオトープ作り	
生き物にとって大切な「すみか」ピオトープを一緒に作り上げていきませんか？各日程続けた参加でも単発でも大丈夫です。(要予約)	
開催日：11月13日(火)、1月20日(火)、2月2日(火)	
◆桜守の会「桜守になろう」	
大房岬を城山公園・佐久間ダムに並び桜の名所にしませんか！	
各日程続けた参加でも単発でも大丈夫。(要予約)	
開催日：11月20日(木)、12月10日(木)、1月28日(木)、2月12日(木)	
対象：自然公園、自然保護、ボランティアに興味のある方など	
参加費：無料/会場：国定公園大房岬自然公園内	
◆問合せ・申込み：0470-33-4551, park.taibusa@chiba-ns.net	

詳細は、各団体のホームページ、及び千葉自然学校のホームページでご確認ください

●ろくすけ日和『立派な看板ができました！』

千葉自然学校では、築180年の古民家を管理しています。南房総市平久里という地域にあり、周りは里山。まるで昔話のような場所です。この家には屋号という昔からの愛称があり、皆から親しみを込めて「ろくすけ」と呼ばれています。シニア自然大学やヤックス自然学校のキャンプリーダーの力を借りて少しずつ整備を進めながら、子ども・大人のキャンプで活躍中です。時々テレビにも出ています！

ろくすけに住み始めて早4か月が経ちました。ろくすけもまだまだ暑い日が続いていますが、夜になると幾分か涼しくなったり、秋に鳴く虫が出てきたりと、少しずつ秋の気配がし始めています。

そんなろくすけにも自然以外の大きな「変化」がありました。6月に行われた地域交流会の日に、ろくすけに立派な看板が設置されました。

この看板、実はホームステイでろくすけを利用した子どもたちとヤックス自然学校のキャンプリーダーが作ってくれたものです。「焼き板」という手法で作られており、その名の通り板の表面を焦がして作られています。子どもたちは見たことのない手法に興味津々。一緒に作業できる時は目をキラキラ輝かせて楽しそうに看板の文字をこすったり、磨いたり。その甲斐あってとても立派な看板が出来上がりました。

そして、その看板を今度は千葉シニア自然大学の方々がろくすけに設置してくれました。看板の位置を決めたら大きな脚立を持ってきて、看板を持ちあげて、くくって…思わず見とれてしまうほどあっという間に設置が終了しました。千葉シニア自然大学の方々の技術はぜひ学びたいものです。

子どもたちとヤックス自然学校キャンプリーダーと一緒に作り、それを千葉シニア自然大学の方々がろくすけに取り付けてくれる…。日にちは違いましたが、3世代で協力して作られた看板は雨風にも負けず、今も立派にろくすけのシンボルとして役目を果たしてくれています。

これから秋に向けてろくすけでは様々なイベントを予定しています。イベントやろくすけにお寄りいただいた際はぜひこの看板を見てみてください。そして、この看板にはいろんな方が関わって出来たという背景を思い出して見ていただければ幸いです。

(かやぶき屋根の古民家ろくすけ住人 山崎大地／だいすけ)



●千葉シニア自然大学

「北海道厚真(あつま)町グリーンツーリズムとアポイ岳登山」

千葉シニア自然大学では、この夏、北海道厚真町を舞台に実施した合同研修旅行のご報告をします。

7月6～8日の3日間、北海道苫小牧の隣にある暑真町の宿泊観光施設「こぶしの湯あつま」を拠点に、同町が主催するグリーンツーリズム（体験型観光）とアポイ岳登山を楽しむ研修旅行に行ってきました。参加者は、一期生8名、二期生11名、三期生18名、それに主催事業の参加者の方々や事務局スタッフ等を含めて総勢47名という大人数の旅行となりました。

一日目は、新千歳空港に集合し、バスで名馬の放牧地などを訪ねながら厚真町に向かいました。宿舎に到着後、2班に分かれ、ソーセージ作りとそば打ちに取り組み、出来上がった作品は、その晩に開かれた地元名士の皆さんが加わってのジンギスカンパーティーでふるまわれて、おいしくいただくと共に、会は大いに盛り上がりしました。

二日目は、早朝に宿を出発し、アポイ岳登山に挑戦しました。往復5時間を予定した登山は、残念ながら頂上にはたてませんでした。眼下に太平洋が広がる雄大な景観と珍しい高山植物を十分堪能することができました。

また、その夜は夕食後ホテル狩りに出かけました。真っ暗闇の森に沢山の源氏ボタルが乱舞する光景は、何とも幻想的で目に焼き付き、忘れられないものとなりました。

最後の日は、厚真町特産のハスカップの摘み取りとジャム作りを体験し、昼食後は地元農園での野菜収穫まで体験するなど、大変盛りだくさんのスケジュールをこなして空港で解散となりました。

今回の旅行は、綿密な準備も去ることながら、参加者の方々のご協力と現地厚真町の多くの関係者の皆さんの心のこもったおもてなし、それに北海道の雄大な景色、気候とも相まって、大変すばらしい有意義な旅行となりました。

(小谷賢彦／ダニー)



みんなのおおきな食卓

～遠藤さんの郷土料理のお話～

稲刈りが終わると、あちこちで秋祭りが行われます。千葉の祭り料理に欠かせないのが、祭りずしの異名をもつ太巻きずしです。当時、チューリップや正ちゃんの絵柄でつくられていた巻きずしを、今のように多様な絵柄をまわ華やかで楽しいものにするきっかけを作ったのは、昭和40年代後半に千葉の農村で米消費拡大に取り組んでいた農家の女性たちです。

とりわけ山武郡市の女性たちの活動は活発で、「太巻きずし研究会」を結成し、味や絵柄の開発に取り組みました。この研究会に、当時、千葉県立衛生短期大学栄養学科の助教授 龍崎英子先生が参加されたことにより、調理学等専門家の立場から一層磨きがかかりました。



以来、この太巻きずしは県内の農村女性、もう一つは龍崎先生を囲む栄養士等で組織された「千葉県伝統郷土料理研究会」の活動を通して県内外にひろめられ、現在のように千葉県の郷土料理を代表するものとなりました。この太巻きずしは、冠婚葬祭に作られるだけでなく、体験交流イベントで取り上げられたり、道の駅などで販売されるようになっています。

この秋から開催される「平群郷土料理塾」でも「千葉県伝統郷土料理研究会」の協力を得ながら技術の伝承をしてゆきます。

『平群郷土料理塾』～ろくすけで郷土料理をつくる・味わう～

日程：①9/26(金)太巻き寿司、②10/24(金)嶺岡豆腐・からなます、③11/30(日)あんびんもち・性学もち、
④1/21(水)てんもんど・麴・粕漬、3/13(金)焼き米・なばな料理
会場：古民家ろくすけ（南房総市平群下） ＊千葉駅 NTT 前からバスが出ます。8:30 集合／16:30 解散予定
参加費：3,000 円／回 ＊1 回から参加 OK＊

～松田料理長のおすすめレシピ～

【きのこ】椎茸・占地・榎木茸などをひとまとめにしたよび方。注意するところは、使う前に加熱することで雑菌等を取り除く。きのこは天然ものと栽培物があり味に大きな差がある。天然ものは、味がはっきり出るのであまり手を加える必要がない。



○きのこのお浸し

占地は、石づきを取りほぐす。椎茸は軸を取り、薄切りにする。
榎木茸は3等分にしてほぐす。きのこを湯通しする。
春菊は、葉をむしって取り、湯通ししたのちに食べやすい大きさに切る。
お浸しの地を作る。（出汁8・薄口醤油1・煮切り味酢0.5）
湯通しした食材を地で洗い絞る。
きれいな地に浸けて刻み柚子を足して出来上がり。

【蓮根】蓮の地下茎。細めの在来種と太い中国種と備中種などがあり、良く見かけるのは中国種である。6・7月から新蓮根を見かけるが旬は秋である。新蓮根は、柔らかくて癖がなく、手粘りも強く色も白く綺麗に上がる。ひねはそれに適した使い方をすればよい。



○蓮根の挟み揚げ

蓮根の皮をむいて、3mmの厚さで輪切りにする。
海老の背ワタを取り除き細かく刻み叩いて卵の素（卵黄に塩を加え油を分離しないよう入れたもの）かマヨネーズを混ぜる。
蓮根に小麦粉を振り、海老を中心に蓮根で挟み片栗粉で揚げて塩をまぶし、出来上がり。

会員校紹介 平成 26 年 8 月末現在

●団体会員（43 団体）

NPO 法人大山千枚田保存会、岩井民宿組合、ヤックス自然学校、鴨川陶芸館（株）ちば南房総、千倉オレンジセンター、NPO 法人たてやま・海辺の鑑定団「わたしの田舎」谷当工房、NPO 法人佐倉みどりネット、森林塾かずさの森（有）みねおかいいいき館、（一財）千葉県観光公社、上総自然学校 NPO 法人安房文化遺産フォーラム、シークロップダイビングスクール 夢の花かん、NPO 法人鴨川自然学校、（株）かずさアカデミアパーク 食と農の体験工房「よもぎ館」、千倉民宿組合、千葉県酪農のさと、ぬく森くらぶ 自然の宿「くすの木」、リゾートイン白浜、Live Stock（ライブストック）グランビュール岩井、さんむアクションミュージアム、市津・ちはら台自然楽校 NPO 法人里山会（勝浦エンゼルアドベンチャーランド）、Sunset Breeze Hota 千葉伝統郷土料理研究会、ひらつか地域活性化協議会、ピーちゃんクラブ NPO 法人ちば里山センター、たのくろ里の村、森の時計・自然工夫塾 さんむ里の子自然塾（あい農農場）、ELFIN 体験共育くらぶ NPO 法人千葉・草原のこころファーム、森のようちえんはっぴー 環境みんなの楽校、（一財）千葉県環境財団、（一社）運動の和

●賛助会員（7 団体）

館山日東バス株式会社、（財）ちば国際コンベンションビューロー 株式会社富楽里とみやま、株式会社 HMC 東京 旅行事業部（社）アーバンネイチャーマネジメントサービス（谷津干潟自然観察センター） スコープジャパン株式会社、林造園土木株式会社

指定管理施設

現在、県内にある3ヶ所の施設を指定管理者として管理・運営しています。

- ・南房総市大房岬少年自然の家
（千葉県の施設として平成 17 年 9 月～平成 20 年 3 月）
（南房総市の施設として平成 20 年 4 月～）
- ・千葉県立大房岬自然公園（平成 18 年 4 月～）
- ・千葉県立君津亀山少年自然の家（平成 20 年 4 月～）



大房岬自然公園



大房岬少年自然の家

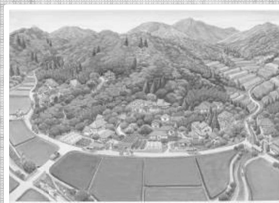


君津亀山少年自然の家

千葉自然学校のミッション

体験活動を通じ

- ・だれもが人生を豊かに生き、支え合う力を育む
- ・地域の資源を保全・活用し、次代に引き継ぐ
- ・ネットワークを充実し、地域の活性化をめざす



千葉事務所のスタッフが
毎回一言つぶやきます。
お見逃しなく！

■12年目の午年御縁年にあやかり、久しぶりに出羽三山を参詣して来ましたが、この三山廻りは、何時も不思議に心も体も清々しく、心持に活力が湧いて来るのを感じます。 オーシャン
■このところ、料理や加工が楽しい。こんな風にしたらおいしいかしらなど思いついたことをやってみる。料理はそのまま食べてしまうが、加工品はガラスの容器に入れておいしくなるまで台所に飾っておく。これもまた楽しいこと。サニー
■日焼けした分だけ、感動もひとしお。そんな勲章もすっかり落ちてしまっただけ。次は雪焼けるぞ。 ボクサー
■新たなステップへ！ 語彙力、情報力、発信力を向上すべく日々精進！ たこはち
■夏の始まりを感じたのも束の間、今は吹く風の中、来る雪の気配を待ちわびています。アリ
■夏は焼けた肌色。秋は自然の木々が色づく。変化が見られる季節の良さがある。のりべん
■秋は読書にスポーツに何をやるにも快適な季節！ 家庭菜園も秋・冬野菜づくりの大事な時期。なかなか思い通りにいかない数年ですが、今年も大いに失敗して、結果として得ることが多いチャレンジになれば…と取り組むこの頃。

モリリン

■芸術の秋・スポーツの秋・食欲の秋。皆さん秋を楽しみましょう。らうす
■ゴーヤのグリーンカーテンも黄色く色付き始め秋の気配！ 朝晩に小さな実を見つける喜びとともに夏を過ごしてきました。未だ沢山の実をつけるカーテンをいつ撤収するか。まだ食べたい欲と夏を惜しむ気持ち、葛藤です。バグママ
■この夏は、猛暑やら異常気象により大変な被害を被った方も大勢おられますが、私自身は体力の衰えを痛感させられた夏でした。歳をとったんだなあ。ダニー
■《先入観や固定概念が人の成長の妨げになる》子育てから学ばせてもらった教え。もうすぐ双子も1歳。私は成長したのか?! けろっぴ
■イベントで植えた稲がザリガニ被害で全滅。残念でしたが、その現実参加者にとっても私たちにとても絶好の学びの場に。 かつを



千葉自然学校の facebook ページでも活動紹介等の情報を掲載しています。ぜひご覧ください！

千葉県内における自然体験活動団体をつなぐネットワーク型の自然学校として、平成 15 年より活動を行っています。自然体験を通して、千葉県の里山・里海の保全と地域の活性化を目指しています。また、ネットワーク会員との連携を強化し、県内全域で幅広い世代を対象とした自然体験活動を実施しています。

発行： **NPO法人 千葉自然学校**

千葉自然学校ニュースレター（年4回発行）

■千葉事務所 〒260-0015 千葉市中央区富士見 2-3-1 塚本大千葉ビル 7 階
電話：043-227-7103/FAX：043-202-7237
■安房事務所 〒299-2226 南房総市富浦町多田良 1212-23 大房岬少年自然の家内
電話・FAX：0470-33-2693
ホームページ：http://www.chiba-ns.net メールアドレス：info@chiba-ns.net

